

石川県小松市 技術視察研修

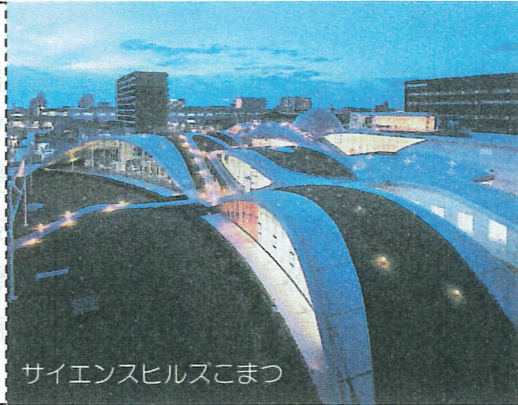
「国際化時代に ふるさとを未来へつなぐ「民の力」と「学びの力」
~PASS THE BATON~

12 つくば実行
つかず実行

9 産業と技術革新の
高度化につなぐ

現地概要

小松市は、石川県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央に位置し、産業都市として発展し、南加賀の中核を担っています。小松市は古くからのづくりのまちとして発展してきました。その高い技術力を継承し科学技術国をリードする人材の育成と、産業の集積を目的に「サイエンスヒルズこまつ」が整備されました。小松駅東エリアは、次世代を担う子供達がものづくりの礎となる理科・科学を学び、学生や研究者が集う「科学とひとづくり」の一大交流拠点となっています。



サイエンスヒルズこまつ

プログラムのポイント

事前・事後学習

事前学習として、小松市役所の方より、各テーマに際して小松市の現状課題やSDGsの取組みについてお話いただきます。事後学習としては、研修後に学習したことについて生徒様より発表いただきます。

サイエンスヒルズこまつ

“ものづくり精神の継承と科学技術意識の啓発”を目的とした「ひとものづくり科学館」、 “未来に向けた地域の活性化と産業振興”を目的とした「こまつビジネス創造プラザ」の2つの施設で構成されています。「科学とひとづくり」の一大交流拠点として、未来の創造力を育むステージとして科学の楽しさや驚き、魅力にあふれているサイエンスヒルズこまつを訪問します。

木場湯公園

木場湯は柴山湯、今江湯とともに加賀三湖と呼ばれ唯一干拓されずに自然のままの姿を残しています。1982年10月17日に県営公園として開園しました。公園開設面積は49.1ha。周辺の田園風景と調和するように整備され、野鳥や水生植物が生息しています。4つの園地が整備され1周6.4kmの園路が結んでいます。水郷風景は「いしかわの自然百景」にも選ばれています。



石川県航空プラザ



木場湯公園



日本自動車博物館

日程表

日数	交通手段	スケジュール	<宿泊地>
1	新幹線等 専用バス	小松市到着 小松市役所の方より 小松市でのSDGsの取組みについてレクチャー 小松市の方と交流 産業観光（企業訪問）	<粟津温泉>
2	専用バス	木場湯にて選択制体験学習 ①カヌー体験 ②サイクリング ③水質浄化実験の見学 石川県航空プラザ見学 日本自動車博物館見学	<粟津温泉>
3	専用バス	こまつの杜見学 サイエンスヒルズこまつ見学 備コマツ訪問 市内学校にて交流会 里山にて自炊	<里山 自然の家>
4	専用バス 新幹線等	里山にてボランティア 苔の里見学 帰路へ	

長野県南信州 農家民泊と体験学習

「人も自然も環境も持続可能な地域の実現を学ぶ」

8 働きがいも
経済成長も

11 国土強靱化
まちづくり

12 つくば実行
つかず実行



現地概要

長野県南信州は城下町や養蚕糖の歴史を背景とした高い文化性（伝統・芸術・工芸）があり、中央南アルプスに形づくられた美しい自然景観が広がっています。グリーンツーリズムの先進地であり（クールジャパンアワード2017受賞、エコツーリズム大賞他）、農家民泊、体験型観光など高い国内評価を得ています。首都圏と関西圏の真ん中に位置しておりアクセスも良好で、お勧めの研修地となります。



プログラムのポイント

農家民泊

全国に先駆けて1998年から受け入れを開始、受け入れ農家は300軒。農家の暮らしに直接入ることにより、コミュニケーション力、他者理解、自己表現力などを養うことのできるプログラムです。農業体験は受入農家や地区の畑、果樹園、ハウス等でその時期にある作業を行います。

SDGsを見据えたフィールドワーク

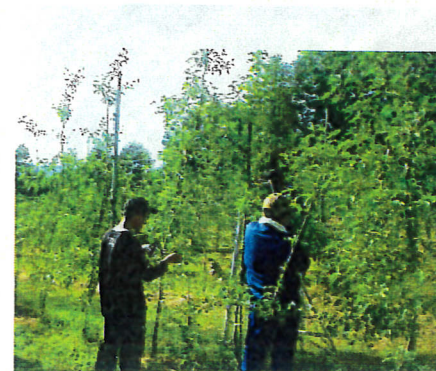
（例）地域農業が抱える課題解決に取り組む
テーマ：JAみなみ信州/発想の転換で地産地消を目指す
テーマ：果物選果場/品質向上と流通促進の工夫
（例）地域資源を活用した新しい観光スタイルの考察
テーマ：樹齢400年以上の名桜の楽しませ方と保存
テーマ：名勝天竜峡の再生/歩廊や遊歩道の活かし方
キーパーソンによる現場での説明と質疑応答、班別ワークショップと成果発表を行います

多種多様な体験プログラム

南信州の自然を生かしたアウトドアスポーツや職人に学ぶ工芸体験、南信州を味わう味覚体験などその多くは南信州に住む人々の理解と協力により成り立っています。体験プログラムは約200種類。

日程表

日数	交通手段	スケジュール	<宿泊地>
1	専用バス	バスにて長野県南信州方面へ到着後、各地区で対面式 お世話になる各農家・地区に分かれての農業体験	<農家民泊>
2	専用バス	各地区にてお別れ式 レストランにて昼食 南信州周辺にてSDGsコース別フィールドワーク ①地域農業が抱える課題解決 ②伝統芸能の抱える課題を考える ③地域資源を活用した新しい観光スタイルの考察 ④集落消滅の危機をどう救うか 等 ホテル又は旅館へ 成果発表会と夕食	<旅館・ホテル>
3	専用バス	選択制体験プログラム A：アウトドアスポーツ（ラフティング、フォレストアドベンチャー、溪流釣り、カヌー） B：プロの職人にならう工芸体験（水引、陶芸、木工細工など） C：味覚体験（バームクーヘン作り、各種ジャム作りなど） 帰途へ	



農家での果樹作業



天竜川ラフティング



大鹿歌舞伎

愛知県豊田市・豊橋市

持続可能な地域づくりを学ぶ研修

「誰もが安心して暮らせる未来を目指す」



現地概要

愛知県豊田市・豊橋市は、持続可能な誰もが安心して暮らせる地域を目指しています。豊田市は、自動車産業をはじめとした様々なものづくり企業や人材が集まる産業都市でありながら、市域の7割が森林であり、都市と山村が共存する地域づくりを学ぶことができます。豊橋市も地球温暖化防止や循環型社会の推進など多くの施策にSDGsの理念を取り入れ、行政課題の解決や地域活性化を実施しています。



プログラムのポイント

事前・事後学習

豊田市では、豊田市役所や各施設職員からの出張またはオンライン授業が可能です。同様に豊橋市でもテーマに応じて豊橋市役所や各施設職員の方からの出張またはオンライン授業が可能です。

エコな未来の暮らしや最新の環境技術体験

「とよたEcoful Town」は、持続可能な「つながる社会」に向けた豊田市の取り組みや多彩な先進技術を体感できる施設です。パビリオン内には、SDGsに関する展示があり、未来について楽しみながら理解・考えを深めることができます。

豊橋筆作り体験

豊橋筆は特殊な技法「練り混ぜ」を使って作られており、墨になじみやすく、滑るような書き味が特徴の筆です。今日では国内生産の約四分の一、高級筆においては七割のシェアを占める、年間180万本が全国で販売されており、1976年に伝統工芸品として指定されました。豊橋筆作り体験で伝統工芸品を学びましょう。



SENTAN



とよた ecoful town



伝統工芸品豊橋筆

日程表

日数	交通手段	スケジュール
1	新幹線 専用バス	名古屋駅へ 専用バスにて豊田市へ 「とよたecoful town」の見学 持続可能な「豊かな暮らし」を目指す豊田市の取り組みを体験できます。 「ものづくり創造拠点SENTAN」にて 施設見学とSDGsの取り組みについての講義 エコライフを発信している環境学習施設 「eco-T(エコット)」の見学 ＜ホテル＞
2	専用バス	ホテルにて朝食 伝統工芸でもある豊橋筆作り体験 旭山動物園のモデルにもなったのんほいパーク 豊橋総合動植物公園にて有機肥料・餌について学ぶ ＜ホテル＞
	新幹線	専用バスにて豊橋駅へ 帰路へ 到着後、各自解散

三重県志摩市

持続可能な御食国の創生



現地概要

志摩市は8世紀に編纂された万葉集において、「御食国（みけつくに）」と詠われた「志摩国」にあたる地域であり、朝廷に「贄」として多様な海産物を納め、小さいながら「国」として扱われ、古くから我が国を代表する「食のブランド地域」として認識されてきた歴史があります。志摩市には、自然とともに暮らしてきた市民が自然を敬い、畏れ、感謝する多くの祭事をはじめとする伝統的な文化が残されています。



プログラムのポイント

事前学習

志摩市では、全国の地方自治体同様に、出生率の低下や若い世代が進学・就職に伴い市外へ流出することで少子高齢化が進んでいます。特に農林漁業者の高齢化と後継者の不足が顕著となって従事者数が激減しており、このままでは、観光資源として重要な御食国の食材の確保が懸念される状態にあり、地域の雇用を支えている宿泊業にも大きな影響を与えることが想定されています。また、農林水産業に関わる地域の伝統文化の継承も深刻な問題となっています。これらの地域課題や志摩市の魅力紹介を市役所の方から事前学習としてお話しすることが可能です。

志摩市の人々との交流

農林漁業や海女さんなど、都市ではあまりお目にかかれない方からお話を聞く機会を設けます。

和具のイセエビ漁の網さばき見学

（10月～4月。見学は都度相談となります。また、荒天時は別プログラムとなります。）
志摩市の和具地区では、かつては漁業者が競い合って刺網によるイセエビ漁を行っていましたが、近年では数人の漁業者が網を持ち寄って1隻の船に乗り合い、共同で漁を行うようになり、水揚げしたイセエビの売り上げを均等分配しています。限りある海の資源を持続可能な形で有効に活用するとともに、地域の漁業者が共存することができる。また、地域の観光資源としても重要なイセエビを観光施設に安定して供給することにもつながっている和具地区のイセエビ漁は、御食国の歴史を継承する非常に優れた取組となっています。



日程表

日数	交通手段	スケジュール	＜宿泊地＞
1	新幹線 電車 専用バス	伊勢市駅へ 志摩市の見学（横山展望台など） その後、市内会場にて志摩市についてお話を伺う（SDGs未来都市、都市にはない志摩市の職業についてなど） 志摩市の方と交流 【ホテル】	
2	専用バス	和具のイセエビ漁の網さばき見学 *見学は都度相談となります （10月～4月） *雨天、荒天別プログラム 志摩自然学校にて、「英虞湾シーカヤック体験」など 志摩スペイン村見学 環境施設見学と、パーク内自由行動♪ 海女さんふれあい体験 【ホテル】	
3	専用バス 電車 新幹線	各コースに分かれ、南伊勢町にて体験学習 ◆漁村体験（漁師と行く漁業体験、魚さばき、干物作り、磯遊びなど、漁村の暮らしを体験） ◆農業体験（みかん農園でのみかん狩り体験など） 4日目に伊勢神宮見学も可能です。	

